

LED トランスワード 取付け・取扱い説明書

この度は、Junack 製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
本書は LED トランスワードの取扱い、及び取付け作業について記載してあります。
取付け前には本書を必ずお読みいただき、正しい取付けを行って下さい。
本説明書に記載されている分解方法、イラスト(画像)、及び作業方法はあくまでも一例です。
車両ごとに脱着方法、取付け方法が異なりますのでお取付けの際はお車の整備要領書等をご確認の上
車両に適した手順で作業を行って下さい。

安全に関する表示

この説明書の中で使用されている記号は、次のようになっています。

警告、**注意**、**注記**、**アドバイス** のところは、とくにしっかりお読み下さい。

警告	取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、死亡または重大な傷害につながるおそれがある内容です。
注意	取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、傷害につながるおそれがある内容です。
注記	取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、物的損害につながるおそれがある内容です。
アドバイス	この用品のために守っていただきたいこと、または知っておくと便利な内容です。

適用車種および適用年式

《車種名》 レクサス LM500h
《年式》 2023/10 ~
《型式》 TAWH15W 型
《グレード》 全グレード対応

推奨準備工具



取付け準備作業

1. 取付け作業は、安全な場所に車を駐車させ、パーキングブレーキを確実に操作して下さい。
2. 取付け作業は、必ずエンジンを停止して行って下さい。
3. 取付け作業の前に、必ずバッテリーの(－)側コードを外して下さい。また(－)側コードは(＋)側コードと接触しないようにして下さい。
4. 構成部品及び部品数量が取付け説明書通りになっているか、また製品が正常に機能するかを確認して下さい。
5. オーディオ等の設定をメモしておくと、後の調整がスムーズに行えます。

取扱い方法

1. スモールランプに連動してロゴが発光します。
- (注)製品本体を強く叩かないで下さい、故障の原因になります。
(注)高圧洗車を行う場合、噴射口を本体にあまり近づけないで下さい。
(注)洗車機にかける場合はオプション設定でリヤワイパーを選択して下さい。

詳しい
取付け方法は
こちらから

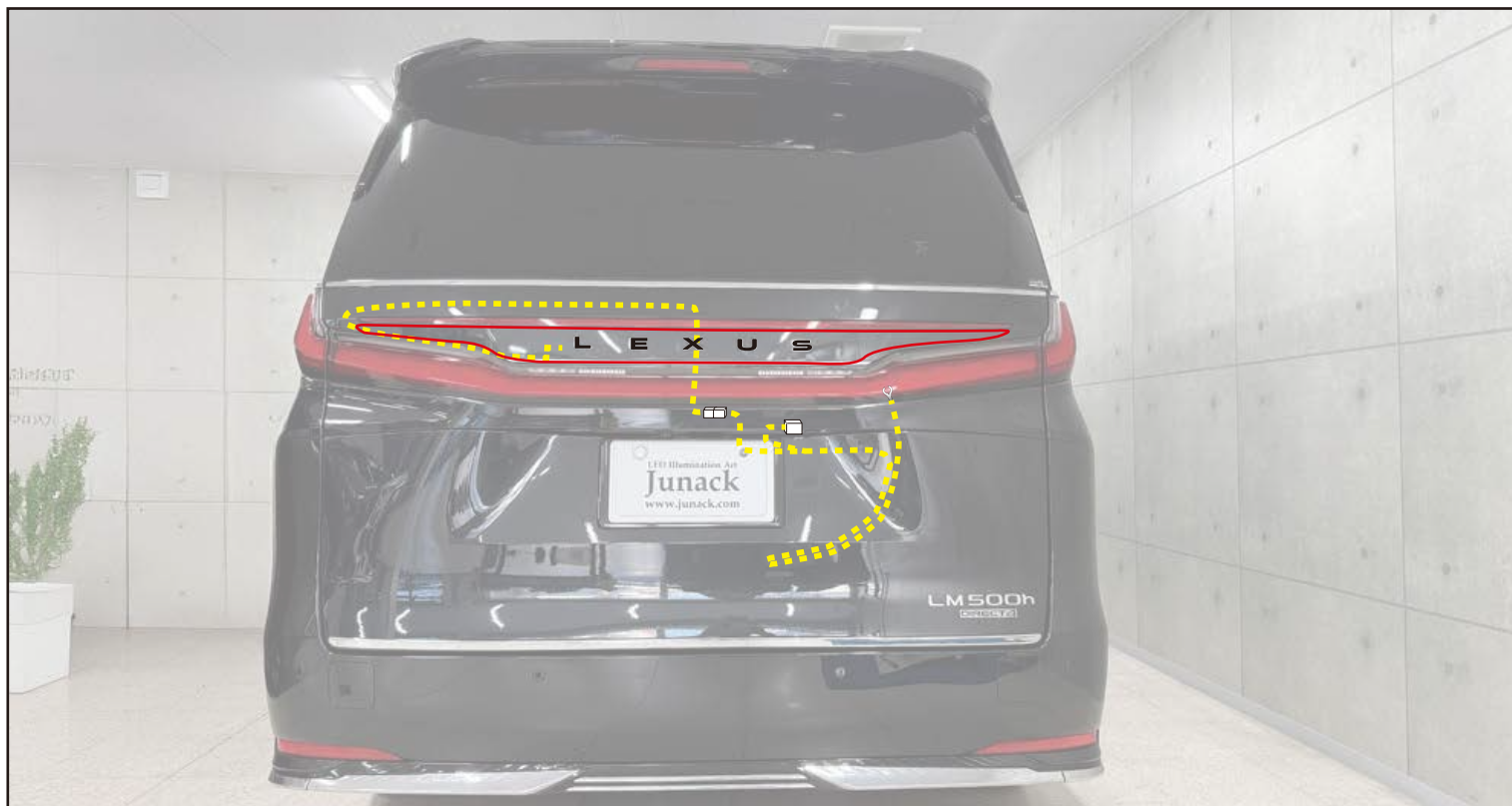


取付け動画は
こちらから

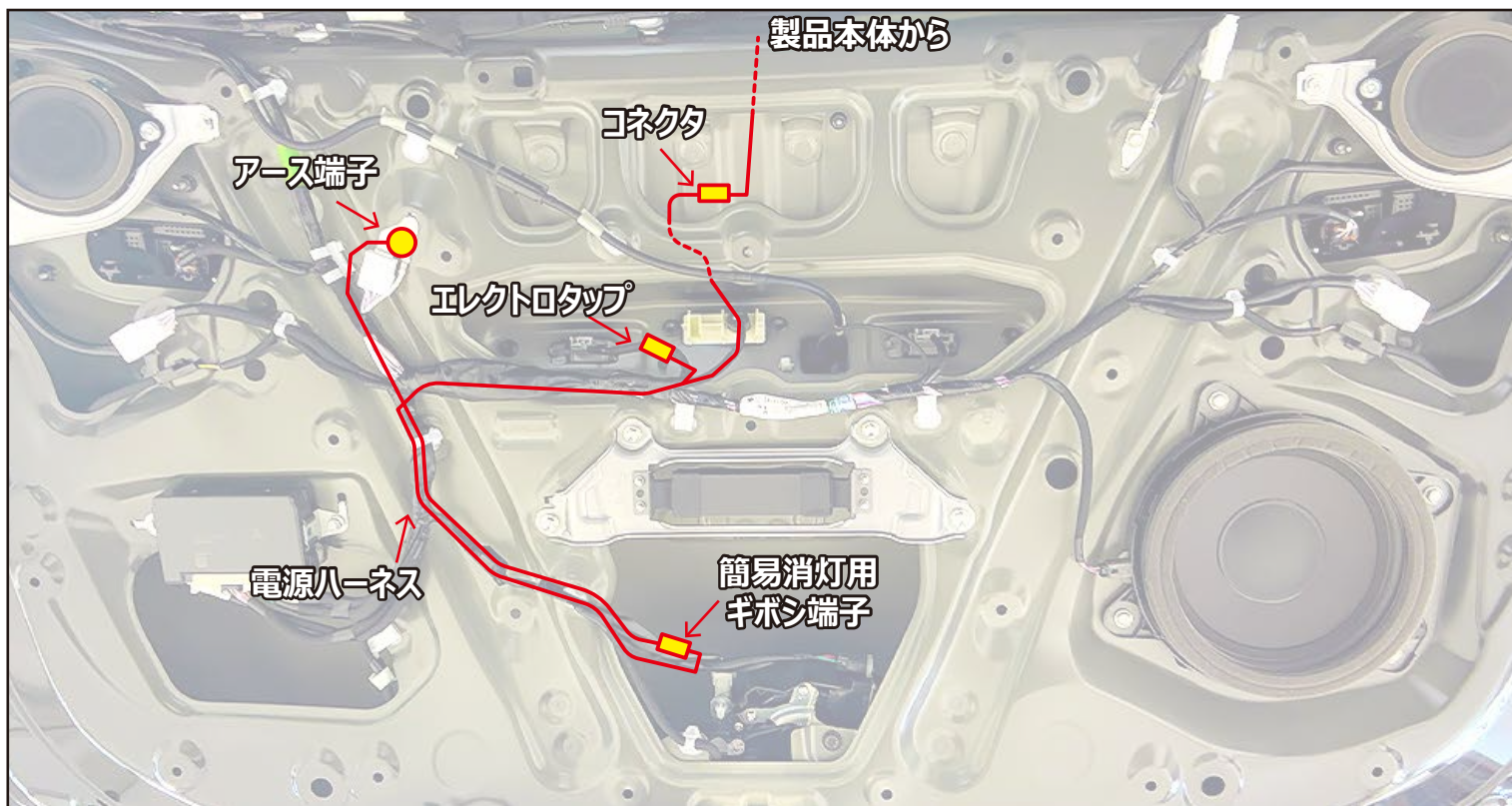


本製品は
ドレスアップを目的に
製作された
LED製品です

完成図全体像

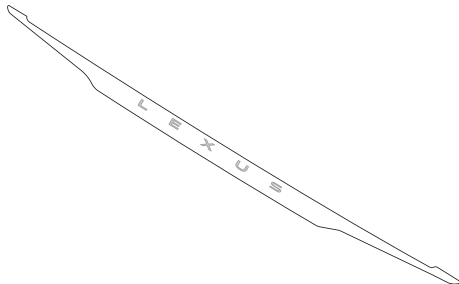
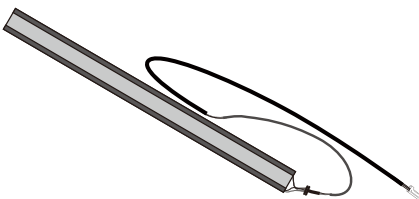


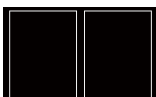
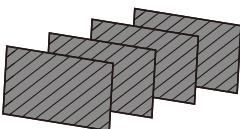





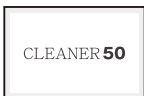



配策図



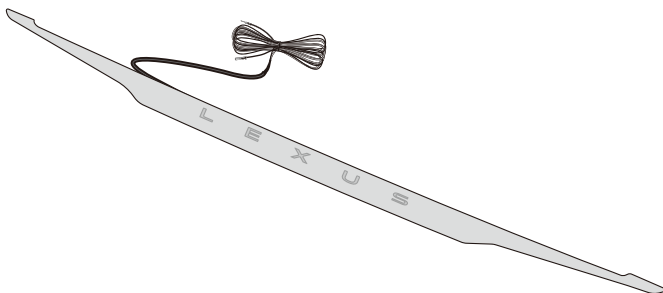

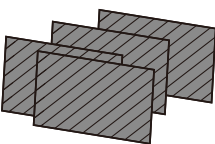



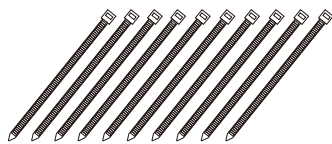
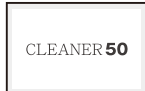

構成部品 / 未塗装品 (LTW-L2 # -NA)

※部品が全て揃っているか確認して下さい。

				
未塗装ガーニッシュ ×1	灯体 ×1		電源取出しハーネス ×1	
				
導光レンズ ×1	灯体遮光フィルムシート ×2	配線固定用クッションテープ ×4	コネクタ ×1	グロメット ×1
				
結束バンド ×10	プチルテープ ×1	PAC プライマー ×1	PAC クリーナー ×1	保証書 ×1

構成部品 / 塗装品 (LTW-L2 # -BK/WH)

※部品が全てあるか確認して下さい。

			
製品本体 ×1	電源取出しハーネス ×1		
			
配線固定用クッションテープ ×4	コネクタ ×1	グロメット ×1	プチルテープ ×1
			
結束バンド ×10	PAC クリーナー ×1	保証書 ×1	

目次

未塗装品を購入の場合は、事前準備より作業をお願いいたします。

1. 事前準備 (ガーニッシュの塗装)	5P
-----------------------	----

塗装品を購入の場合は、エンブレムの取外しより作業をお願いいたします。

2. 準備作業	6P
3. エンブレム取外し	7P
4. 製品本体位置決め	8P
5. 製品本体取付け	9P
6. 車両部品取外し	11P
7. ハーネス配策①	12P
8. ハーネス配策②	13P
9. ハーネス配策③	14P
10. ロゴエンブレム取付け	18P
11. 点灯確認～車両復元	19P

事前準備（ガーニッシュ未塗装品）

①-1 ガーニッシュの塗装



ガーニッシュを希望色に塗装して下さい。

注 記

文字の切り抜き部は塗装が厚くなると、導光レンズが入らなくなるのでご注意下さい。
両面テープの接着面に塗料が回り込まないように注意して下さい。

②-2 灯体取付け



黄色の斜線部分を付属のクリーナーで脱脂を行い、付属のプライマーを塗布して下さい。



灯体を左右のケガキ線に合わせ、下側両面テープに突き当てて貼付ける

灯体に貼付けてある両面テープの剥離紙を剥がし、左右をガーニッシュ裏面のケガキ線に合わせ、
下側は両面テープに突き当てて貼付けて下さい。

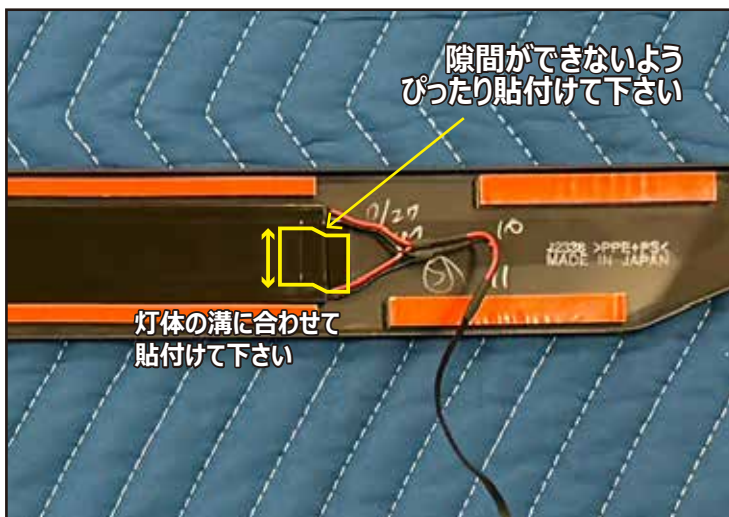
注 記

灯体が両面テープに乗り上げない様に注意して下さい。
灯体を貼付ける際はガーニッシュが変形したり傷つかないよう意匠面側に毛布等を敷いて灯体を圧着して下さい。

③-3 遮光フィルム貼付け



左右の末端部分に付属の灯体遮光フィルムを貼付けて下さい。



準備作業

②クッションテープをカット

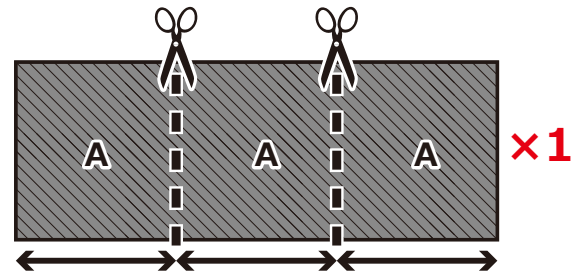
画像 2a・画像 2b を参考に、
クッションテープをカットしてください。

3 等分クッションテープ A 合計 3 枚

6 等分クッションテープ B 合計 12 枚

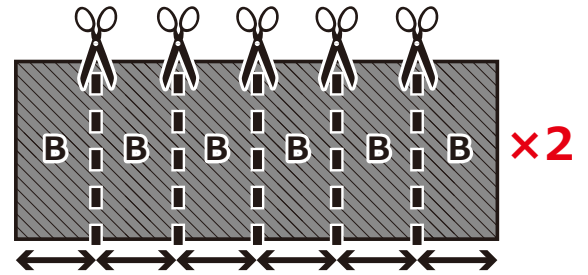
画像 2a

クッションテープ 1 枚を 3 等分する



画像 2b

クッションテープ 2 枚を 6 等分する



エンブレム取外し

③-1 エンブレムを取外す

画像 3a を参考に、糸またはテグスを使用して車両の LEXUS ロゴエンブレムを剥がします。

注 記

エンブレムは再使用します。変形の恐れがありますので過度な力を加えて外さないで下さい。
剥がれにくい場合はヒートガン等で温めながら剥がして下さい。

画像 3a



③-2 エンブレムの両面テープを剥がす

外したエンブレムから両面テープを剥がして下さい。

注 記

エンブレムに両面テープが残っていると、後工程で導光レンズに貼付けた際に浮きや剥がれの原因になります。
パーツクリーナーや爪楊枝などを使用して完全に除去して下さい。

画像 3b



製品本体位置決め

④製品本体の貼付け位置を確認後、位置を決める

製品本体を上下左右均等になるよう、養生テープ等でリヤガーニッシュに仮固定します。

画像 4a の黄丸印部分にて
車体パネル端末やキャラクターラインを目標にすると合わせやすいです。
画像 4b ・ 4c ・ 4d ・ 4e を参考にしてください。

仮固定後、画像 4b ～ e を参考に
位置合わせ用のマスキングテープを貼付けます

位置決めが終わったら、本体をいったん取外します。
位置決めマスキングテープが剥がれないよう、注意して下さい。

画像 4a



画像 4b

助手席側



画像 4c

助手席側

マジックペン等で
マーキングしておく
とわかりやすいです



画像 4d

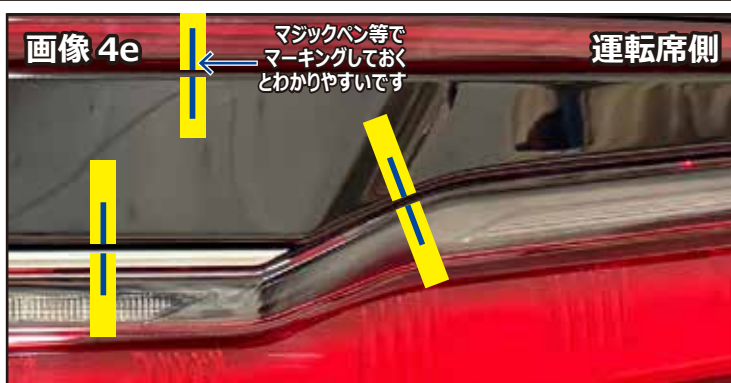
運転席側



画像 4e

運転席側

マジックペン等で
マーキングしておく
とわかりやすいです



製品本体取付け

⑤-1 貼付け準備

製品本体を貼付ける車体部分を付属のクリーナーやパーツクリーナー等で清掃、脱脂して下さい。

注 記

ワックスやコーティングなどの油分が残っていると剥がれの原因となります。十分に脱脂して下さい。

画像 5a



⑤-2 ハーネス処理

本体裏面の灯体から出ているハーネスの両面テープ剥離紙を一部はがし、画像 5b のように処理します。

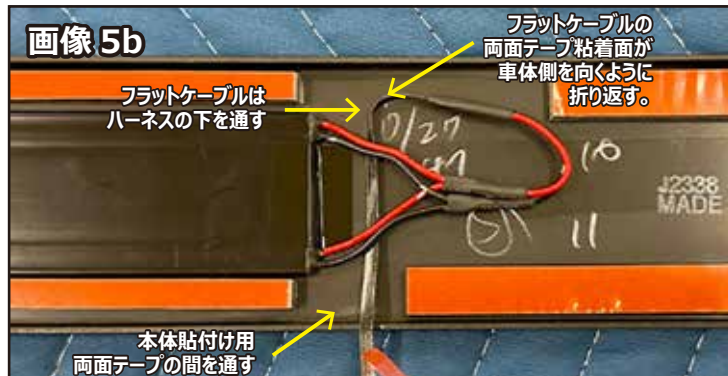
ハーネス処理が完了したら、クッションテープ B を図 5c のように貼付けます。

ハーネスが浮かないよう、クッションテープ B を貼付け、軽く圧着して下さい。

注 記

ハーネス、フラットケーブルは強く折り曲げないでください。断線の原因になります。

画像 5b



画像 5c



画像 5d



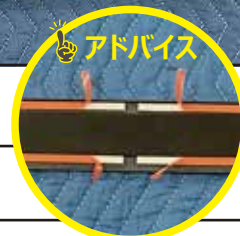
⑤-3 製品本体の貼付け準備

画像 5e

本体裏面の両面テープ剥離紙を、画像 5e 黄丸印のように部分的に剥がします。

アドバイス

剥がした剥離紙は戻らないよう、癖をつけるように折り曲げておくと作業性がよくなります。



製品本体取付け

⑤-4 製品本体の貼付け

リヤガーニッシュ周辺を養生テープで保護します。
製品を 4-1 で決めた位置に合わせながら貼付けます。
この際、5-2 で処理したフラットケーブルが
両面テープに挟み込まれていないことを確認して下さい。
また、画像 5f・5g を参考に折り返した両面テープ剥離紙が
全部外に出ていることを確認して下さい。

注 記

剥離紙折り返し部が外に出ていないと、
剥離紙を引き抜けなくなりますので注意して下さい。

位置があっていることを確認したら、
両面テープ剥離紙をゆっくりと引き抜きます。
剥離紙を引き抜き終わったら、本体外周部を圧着してください。

注 記

本体外周部を圧着する際は、ロゴ部分を加圧しないでください。
故障の原因になります。

画像 5f



画像 5g



車両部品の取り外し

⑥車両部品の取外し

⑤で貼付けた製品本体ごと、リヤガーニッシュを取外します。

画像 6a



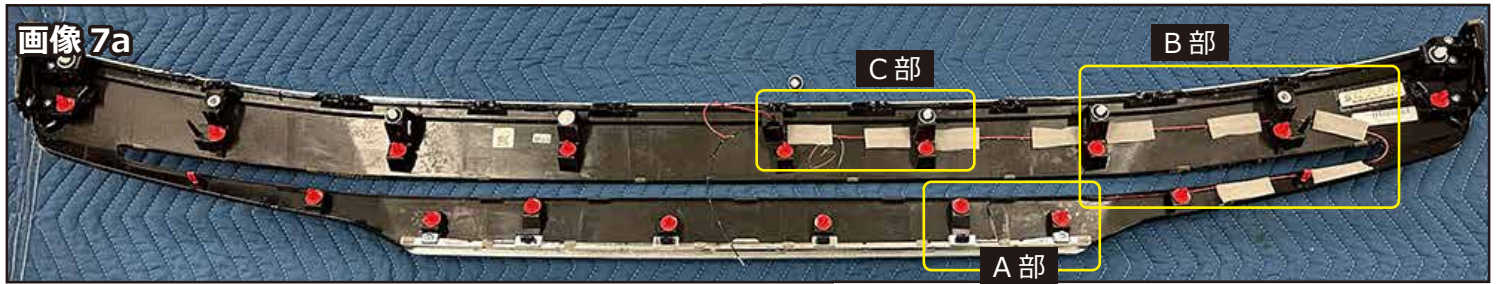
画像 6b



ハーネス配策①

⑦リヤガーニッシュ内ハーネス配策

画像 7a



リヤガーニッシュ内に図のようにハーネスを配策します。めっきモールを取外して下さい。

画像 7b A 部・拡大図参照

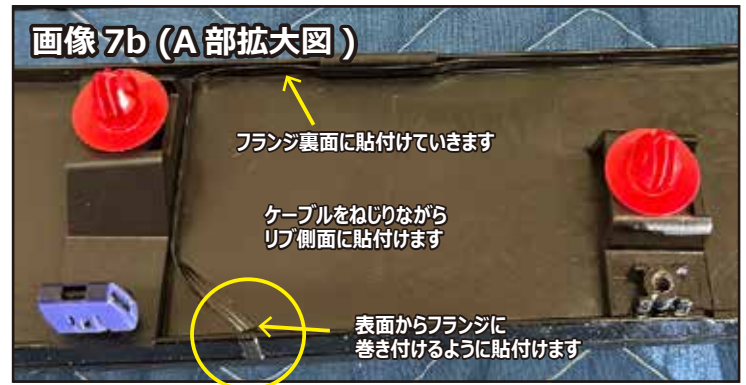
製品本体から出ているフラットケーブルの剥離紙を全部はがします。
ガーニッシュ表面から裏面に向かって図のようにフラットケーブルを貼付けます。

この際、フラットケーブルに浮きが無いよう注意してください。

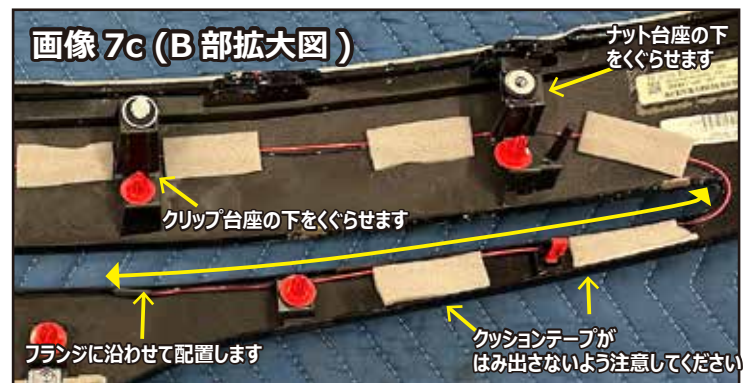
注 記

フラットケーブルは強く折り曲げないでください。
断線の原因になります。

画像 7b (A 部拡大図)



画像 7c (B 部拡大図)



画像 7c B 部・拡大図参照

ハーネスを図 7c のようにクッションテープで貼付けます

画像 7d (C 部拡大図)



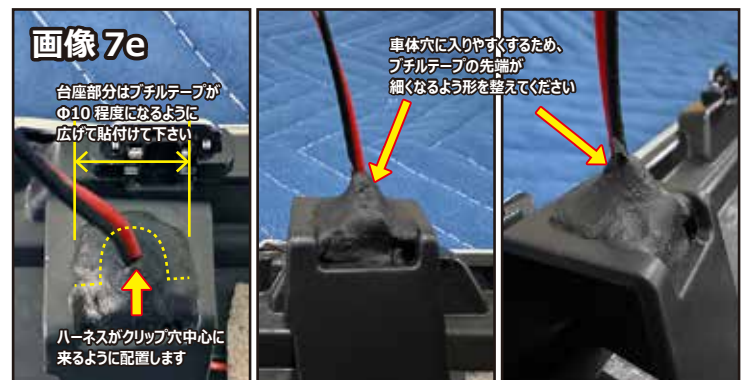
画像 7d B 部・拡大図参照

画像 7d 黄丸印部分を参考に、中央部の白色クリップを取外し、
クリップ穴にハーネスを通して、
図のようにクッションテープ B で貼付けます。

取外したクリップは大切に保管してください。

クリップ穴を通したハーネスに、画像 7e のように
ブチルテープを巻き付けます。

画像 7e

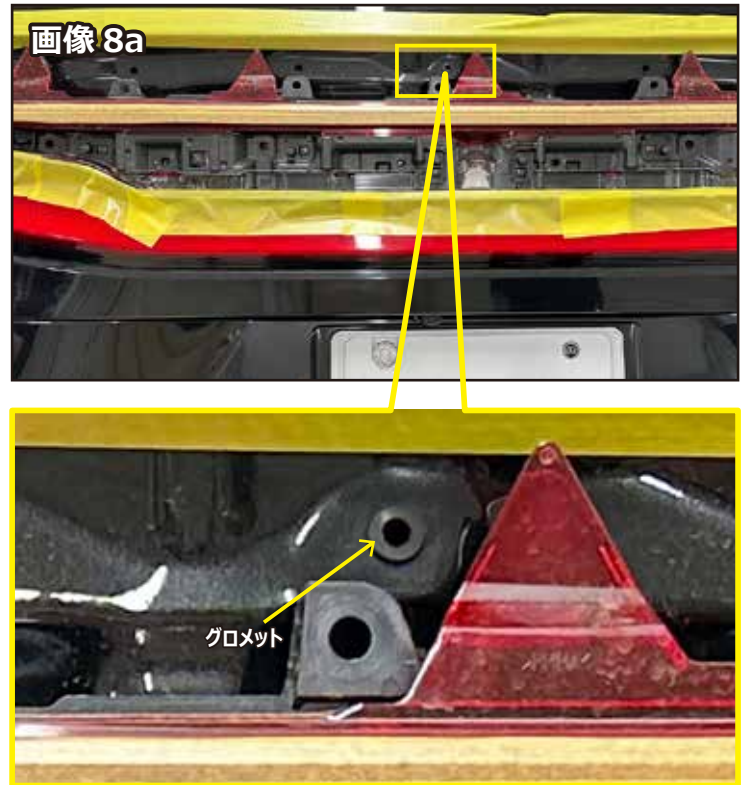


ハーネス配策②

⑧-1 グロメット取付け

図のクリップ穴周辺を清掃し、付属のグロメットを取付けます。

画像 8a



⑧-2 ハーネス貫通部処理

リヤガーニッシュを車両にあわせ、
ハーネスを 8-1 で取付けたグロメットに通します。
この際、7-1 でハーネスに取付けたブチルテープで、
グロメットの穴に栓をするようにして下さい。

ブチルテープがグロメットに貼りついたら、
室内側からハーネスを軽く引っ張り、
ブチルテープがグロメットに圧着するようにして下さい。

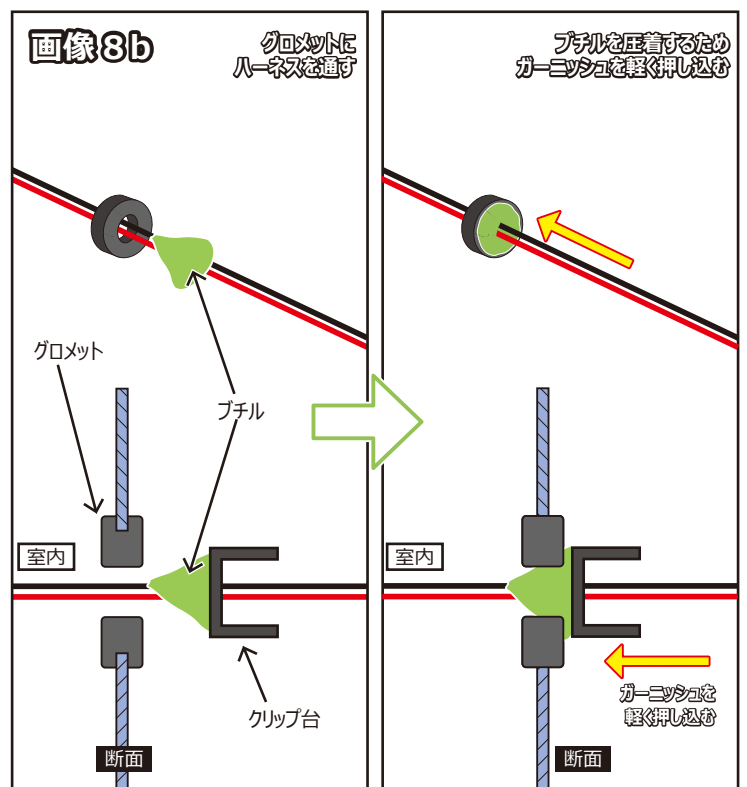
注 記

ハーネスは引っ張りすぎないように注意して下さい。
ブチルが室内側に落ち込み、水漏れの原因になります。

画像 8b

グロメットに
ハーネスを通す

ブチルを圧着するため
ガーニッシュを軽く押し込む



⑧-3 ガーニッシュ仮固定

ガーニッシュを車体に仮固定します。

アドバイス

ガーニッシュのクリップを全箇所勘合させると
作業ミスがあった際に取外しが困難です。
この段階ではガーニッシュが落下しない程度（3、4箇所）
クリップを勘合させておき、
点灯チェック後に全箇所勘合させることをおすすめします。

画像 8c



ハーネス配策③

⑨-1 室内側配策

室内側ハーネス配策は図のようになります。



⑨-2 コネクタ取付け

画像 9a

製品本体から出ているハーネスにコネクタを取付けます。
完成図を確認し、ハーネス配列を間違えないようにして下さい。

灯体ハーネスの端子を使い、防水ゴムを取外します。
画像 9a 下を参考にして下さい。

灯体ハーネスのコネクタを防水ゴムに 3mm 程度差し込みます。
端子はあまり奥まで差し込まないようにしてください。
ロックがかかり抜けなくなります。

端子を少しこじめるようにして防水ゴムを取外します。

注 記

防水ゴムは軽い力で取り外せます。
無理な力をかけると端子が曲がってしまう恐れがありますので
注意して下さい。

画像 9b

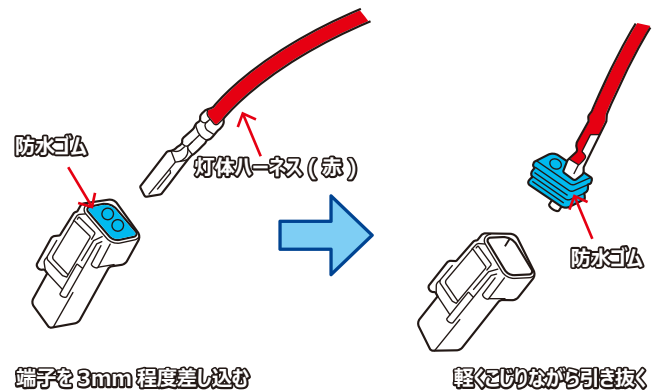
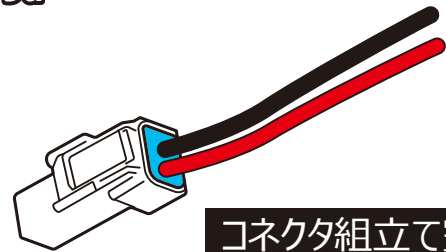
防水ゴムを端子から 50mm 程度の位置にスライドさせ
もう一方のハーネス（黒）も通します。

コネクタに赤色ハーネスの端子を差し込んで下さい。
端子の配列、向きを間違えないよう注意して下さい。
端子が正しく奥まで差し込まれると、小さくカチッというロック音がします。

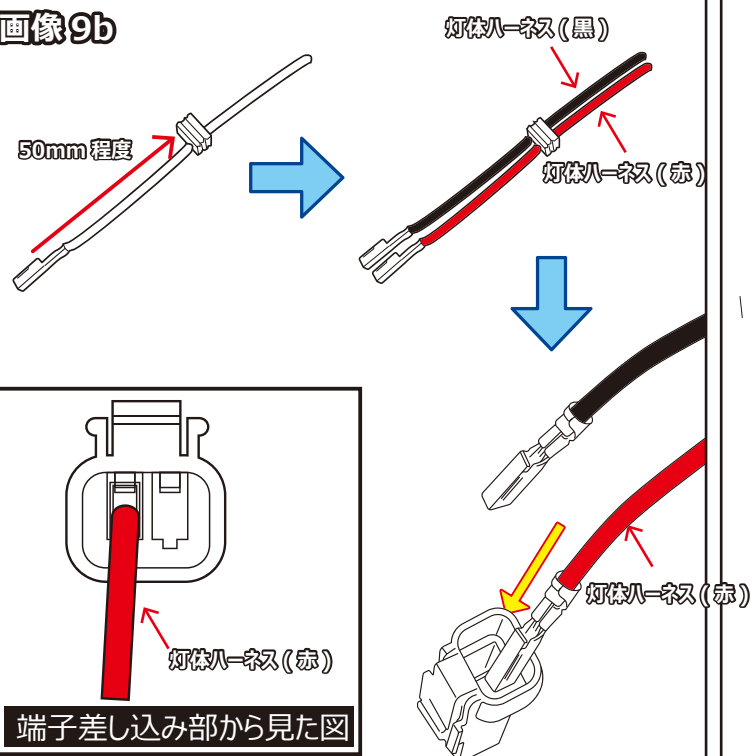
注 記

端子は軽い力で挿入できます。
無理な力で押し込むと端子を破損しますので注意して下さい。
うまく差し込めない場合は、端子の向きを確認し、
コネクタ穴の向きとあわせてから差し込んでください。

画像 9a



画像 9b



ハーネス配策③

画像 9c

同様に黒色ハーネスの端子をコネクタに差し込んで下さい。

ハーネス配列に間違いがないか、
コネクタ組立て完成図を再度確認して下さい。

防水ゴムをスライドさせ、コネクタにセットして下さい。

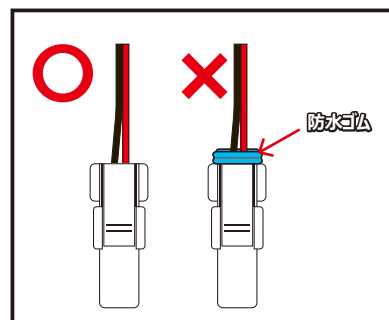
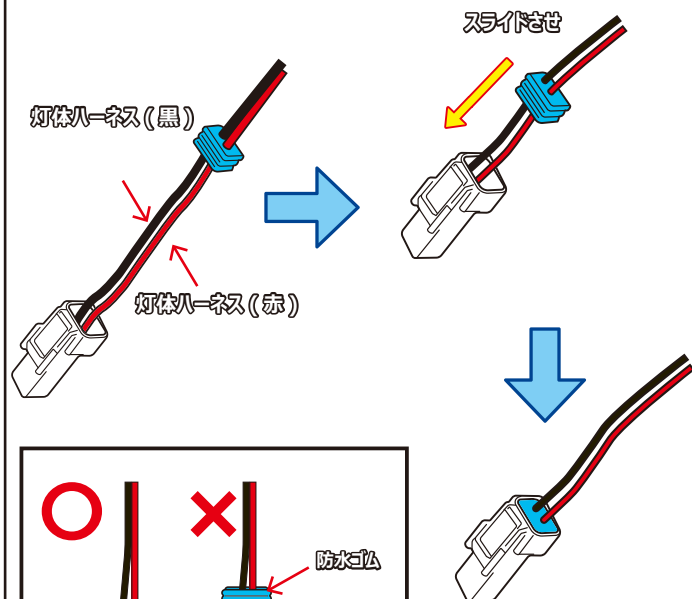
防水ゴムはコネクタ端部と面一になるようにセットします。
押し込みすぎたり、コネクタから飛び出しが無いようセットしてください。

端子配列を間違えてしまった場合は、
端子抜きツール等を使って取り外し再度正しい配列で差し込みます。

注 記

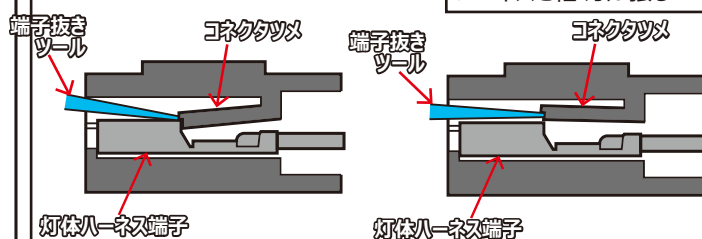
ハーネスを抜く場合は、
過度な力をかけないように十分注意して下さい。
コネクタや端子が破損する恐れがあります。

画像 9c



コネクタ先端から端子抜き
ツール等を差し込む

コネクタ内の引っ掛け
爪を押し上げ、
ハーネスを軽く引っ張る



ハーネス配策③

⑨-3 電源ハーネス取付け

車両右側の**ナンバー灯コネクタ**を取外し、
保護チューブを開きます。

スモールランプを点灯させテスター等で +12V のハーネスを確認し、
電源ハーネスのエレクトロタップを接続します。

注 記

画像 9f を参考に、
+12V を確認する際は、必ずナンバー灯からコネクタを
取り外して行って下さい。
コネクタを接続したまま検電器確認すると、
正しく +12V を探し出すことができません。

ナンバー灯は直列になっているため、A は +12v ですが、
B、C は +6v 程度です。A 以外に接続した場合、
不灯や光量不足になります。

エレクトロタップは開かないよう結束バンドで共締め固定して下さい。
接続が完了したら、
保護チューブはビニールテープ巻き等して元に戻して下さい。

電源ハーネスのアース端子を画像 9g のように共締め固定します。

電源ハーネスのコネクタをパネル内側を通し、
製品本体のコネクタと接続します。
接続が完了したらスモールランプを点灯させ、
製品が点灯するか確認して下さい。

注 記

バックドアを閉じる際はハーネスの挟み込みに注意して下さい。

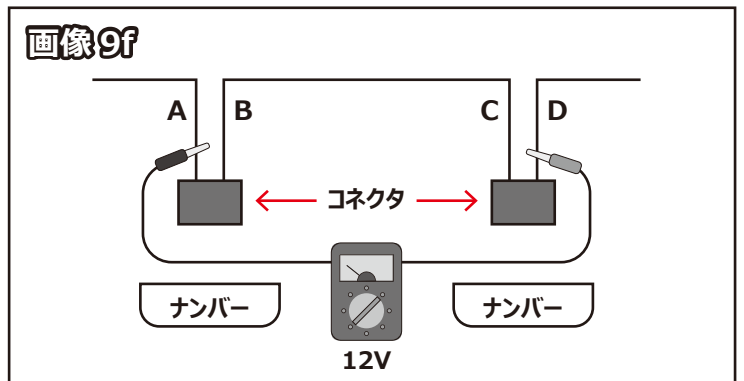
画像 9d



画像 9e



画像 9f



画像 9g

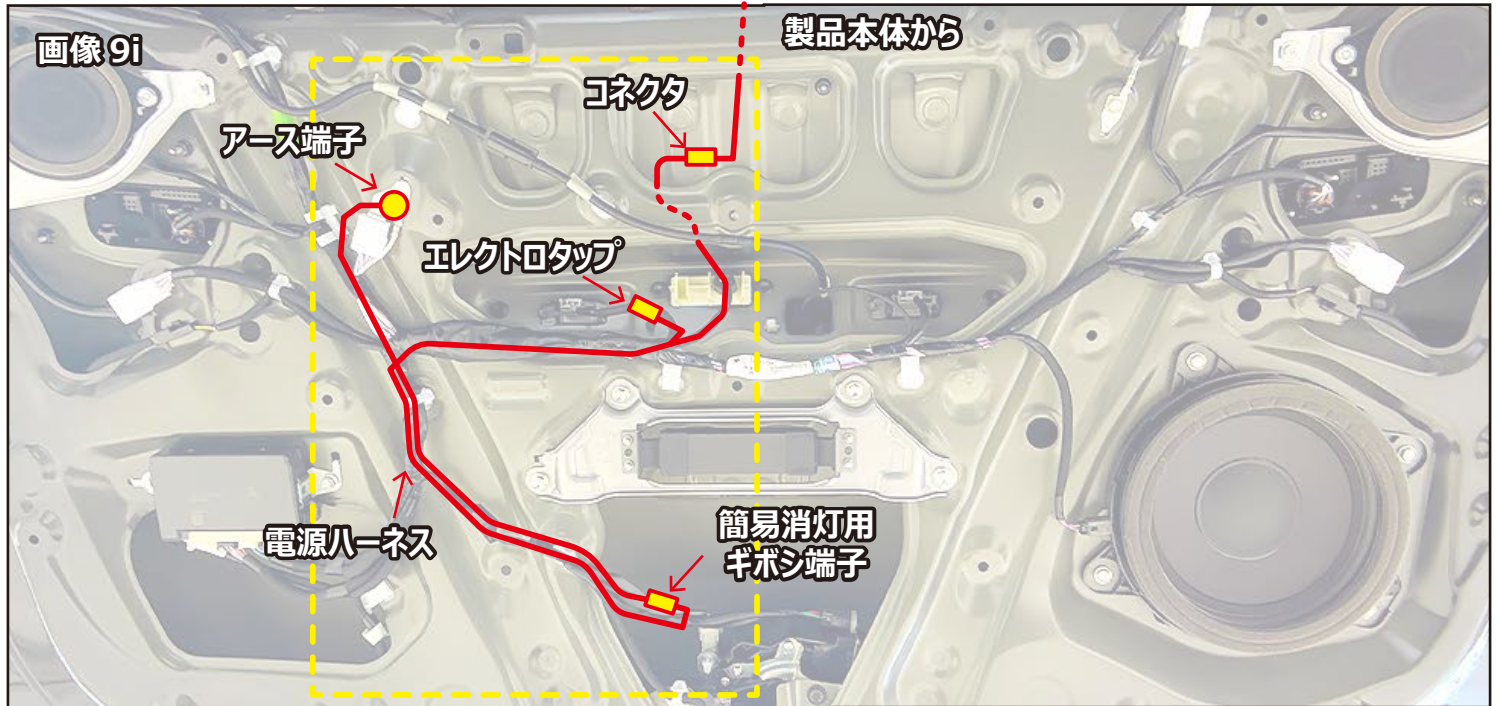


画像 9h



ハーネス配策③

⑨-4 電源ハーネスの固定



ハーネスを画像 9i 印部分を参考に結束バンドで固定します。

⑨-3 で結線したコネクタとハーネスは、画像 9k を参考に、クッションテープ A で車体に貼付けて下さい。

電源ハーネスは画像 9j 印部分を参考に、両ハーネスに結束バンドで同束してください。
結束バンドの不要部は適宜カットしてください。

※結束バンド・クッションテープは余分に付属しております。
適宜ご使用ください。

画像 9j 画像 9i 破線部拡大図



画像 9k 画像 9j 破線 (コネクタ貼付け) 部拡大図



注 記

パネルや金属ブラケットのエッジに干渉しないよう配策して下さい。

ロゴエンブレムの取付け

⑩ロゴエンブレムの取付け

⑧-3 で仮固定していたガーニッシュを完全固定します。
ロゴエンブレム裏面に両面テープが残っていないか確認し、
パーツクリーナーで裏面を脱脂します。
製品本体の剥離紙をはがしロゴエンブレムを貼付け、
軽く圧着して下さい。

注 記

ロゴエンブレムを圧着する際は、
強く押しすぎないようにして下さい。
製品本体が破損する場合があります。

画像 10



動作チェック・車両復元

⑪車両の復元

取外した車両部品を復元し、養生テープ等も剥がします。
車両各部動作チェックをおこなってください。

画像 11

